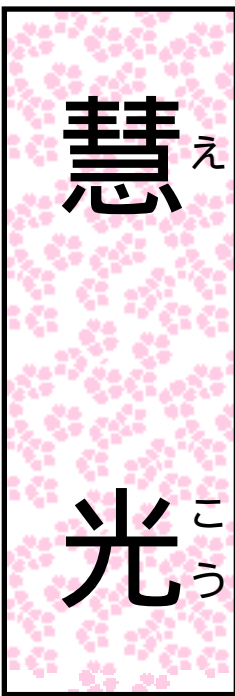




岡本家からいただいたダリア咲きました (7月7日撮影)



金光寺寺報  
第193号  
発行所 金光寺  
宮崎県西臼杵郡  
五ヶ瀬町大字鞍岡  
5927番地  
0982  
83-2338

今月法語カレンダーのことは

くどく ほうかい ぼんのう じょくすい  
功德の宝海みちみちて 煩惱の濁水へだてなし

7月の法語は、『高僧和讃』「天親讃」の中の一つ、本願力にあひぬれば  
むなしくすぐるひとぞなき  
功德の宝海みちみちて  
煩惱の濁水へだてなし

の後半部分です。現代語に訳してみると、「本願のはたらきに出遇ったならば、空しく迷いの世界を過ごす人はいない。名号にそなわったすぐれたはたらきが、海のように満ち満ちて、濁った煩惱の水も、分け隔てがない」となります。

親鸞聖人は、「功德」という言葉について、『一念多念文意』の中で、「功德」と申すは名号なり。と、「功德」とは南無阿弥陀仏の名号である、と解説してくださっています。一般的に「功德」とは、善い結果をもたらす

もととなる善行(「功德を積む」)、または、善行の結果として与えられる果報(「功德がある」)の意味でとらえますが、基本的には、すぐれたはたらき(性質)という意味です。つまり、「功德の宝海」とは、南無阿弥陀仏の名号のすぐれたはたらき(性質)が果てしなく広く大きいことを、海に喩えているのです。海は、どんなに汚れた川の水が流れ込んでも、それを同化して一味にします。それと同じように、南無阿弥陀仏の名号のはたらきが私に満ち満ちて、煩惱と同化して分け隔てがないというのです。

煩惱と分け隔てがないということは、煩惱が往生の妨げにならないということの意味をします。南無阿弥陀仏の名号のはたらきは、煩惱に妨げられることなく、私たちを浄土に往生させてくださるのです。

(本願寺出版社刊「大乘」誌より転載)

仏事お休みのお知らせ

下記の日は緊急を除き、仏事は行いません。ご協力をお願いします。

- 8月 5日(土) 終日 午前  
6日(日) 終日 午前
- 9月 2日(土) 午後~終日  
3日(日) 終日 午後  
14日(木) 終日 午後  
27日(水) 終日 午後
- 10月 21日(土) 午後~22日(日)

6月、次の金光寺門信徒の方がご往生なさいました。謹んでお悔やみ申し上げます。

2017年 6月13日寂 満101歳  
倉本 西山 アサエ 様

ホームページ開いています。  
URL <http://konkhoji.jp/>  
7月8日現在 アクセス数 79,348人

突然の台風三号発生と襲来には驚きました。しかし、その後、福岡県・大分県に甚大な被害を与えた集中豪雨にはもつと驚きました。昨年、町内に多くの被害を与えたゲリラ豪雨にも驚きました。今回の集中豪雨は想像を絶する規模でした。当山も甚大ではありませんでした。が、台風三号と集中豪雨は被害を与えてくれました。桜の枯れ枝が多量に落ち、降雨が続くのもです。八日土曜日には仏参があるため、七日に雨が止んだ時間を見はからって坊守と二人で手作業での除去作業になりました。梅雨前半はカラ梅雨でしたが、その後は長雨が続き、早境内の掃除ができないので、早く梅雨あけしないかなと思っております。かなり待ち続けていますが、あまりに首を長くして待ち続けるのはキリンの様に首が長くなるのではないかと心配になります。夏を過ぎだんだん日が短くなっていますので、掃除できる時間が少なくなります。掃除できる時間を自然は無視ですね。(住職 松井卓郎)

仏教用語豆辞典

不請不請

「不請不請、承知してしましましたよ」というように、不請不請は、不承知ではあるが仕方なしに、いやいやながら、しぶしぶ、不本意という意味の日常語で、不承不承と書く場合もある。

「不請の友」といいます。「無量寿経」には「諸の庶類の為に不請の友と作(な)り」とあり、また「勝鬘経」には「普く衆生の為に、不請の友と作り」とあるのがそれです。「維摩経」に「衆生請はざるに友となつて之を安ず」とあるように、人々から請願しないのに、慈悲の心を持って、進んで教化し、救う真の友です。大変有難い友ですが、われわれ凡夫の社会では、おせっかいといわれそう、つい不請不請……。(本願寺出版社発行 辻本敬順著 仏教用語豆辞典一〇〇 PART-1 から)

住職ひとりごと



# 歌でお示し 弥陀の慈悲

「この味がいいね」  
と君が言ったから  
七月六日は  
サラダ記念日

「この味がいいね」  
と君が言ったから  
七月六日は  
サラダ記念日

「この味がいいね」  
と君が言ったから  
七月六日は  
サラダ記念日



俳句に關心を持ち、歳時記を  
買い求め、テレビ番組審査員  
夏井いつきさんの著書を買  
求める人が増えてるそうです。  
私もできるだけプレバトを  
見ますし、俳句の添削にもチヤ  
レンジしています。夏井先  
生のようにはできません。  
俳句をたしなみたいと思  
うのですが、夏井先生の芸能人  
に対する指導を聞くと、私に  
はハードルが高い様に感じて  
手を出せません。句なり歌な

り、作り続けることはもちろ  
ん、素質・素養、花鳥風月に  
対する観察眼や注意力が必要  
なのでしょうね。  
仏教を学び、親鸞聖人や  
法然聖人、その他の有名な僧  
侶方のみ教を学ぶにつれて、  
そんな祖師方の俳句や短歌作  
品の素晴らしさに驚き、ただ  
ただ感嘆するばかりです。  
過去の寺報で多くの作品を  
紹介してきました。またかと  
思われるかもしれませんが、  
振り返ってみます。  
親鸞聖人はわずか九歳で  
明日ありと  
思う心のあだ桜  
夜半に嵐の  
吹かぬものは  
と出家するにあたって、おの  
れの覚悟を披歴しておられま  
す。  
一休禅師は親鸞聖人のお示  
しをほめたたえ、次の歌を作

られています。  
襟巻の  
あたたかそうな黒坊主  
此奴が法は天下一なり  
まだまだありますが、私が  
好きなのは法然聖人の  
月影の  
至らぬ里はなけれども  
眺むる人の  
こころにぞ住む  
という歌です。  
阿弥陀さまの私たちを救う  
本願のはたらきは月の光のよ  
うに至り届かないところはな  
く、本願が成就されたおいわ  
れを聞きひらき、救っていた  
だくことに対して疑いの心が  
ないもののその身の上で阿弥  
陀さまのお慈悲がはたらく、  
と、ともすれば本願のはたら  
きを疑ってしまいがちなこの  
私を誠めてくださいます。  
そんな阿弥陀さまのお慈悲  
を原口針水和尚は  
我称え 我聞くなれど  
南無阿弥陀  
つれていくぞの  
弥陀の呼び声  
と味わわれました。

## 法語の世界

〈原文〉

御文をよみて人に聴聞させんとも、  
報謝と存ずべし。  
一句一言も信のうへより申せば人の信用もあり、また  
報謝ともなるなり。

(蓮如上人御一代記聞書 二百八)

〈現代語訳〉

「人前で御文章を読んで聴聞させるのも、  
仏恩報謝である  
と思いなさい。一句一言でも、信心を  
いただいた上で読み聞  
かせるのなら、人も信じて受け取るし、  
仏恩報謝にもなるの  
である」と仰せになりました。

### 第37回高千穂組仏教女性の集い 五ヶ瀬町町民センターで開催

「第37回高千穂組仏教女性の集い」  
は6月25日(日)に五ヶ瀬町町民セ  
ンターで、高千穂組内11カ寺の会員  
380人の参加のもと盛大に開催され  
ました。(当山担当)  
ご講師は浄土真宗本願寺派布教使で  
大分教区大海組妙蓮寺副住職蓮谷啓介  
師。「聞かせたいとお慈悲とどいて」  
を法題にユーモアを交えながら分かり  
やすくお取次ぎくださいました。



### 初盆会の日程について

毎年、初盆会にご連絡を頂いた順に日程を決めてい  
ます。本年初盆をお迎えするお宅で、時間を決めて法  
要後のお斎をお考えのところは早目にご連絡ください。  
なお、下記は日程が決まっています。

記

8月13日	10時、11時、12時、13時、14時 15時、16時
8月14日	9時、10時、11時、12時、13時 14時、15時
8月15日	9時